

丹後の凸凹個性家 Kay (ケイ)

(丹後地域当事者サークル よさの大人の凸凹の会)

凸凹ニュースレター

HP で印刷用配布 <http://yosanodekoboko.aikotoba.jp/>

vol. 16

2018.11.13

発行人 Kay

大人の発達障害の当事者が「いきづらさ・はたらきづらさ」をかんじている方への
ピアサポート・セルフヘルプの取り組みを個人活動で行っています。

Eメール: yosano-dekoboko@outlook.jp

FB: [@yosanodekoboko](https://www.facebook.com/yosanodekoboko)

※毎週火曜日夜の居場所“つどい”は 11/20 の回をもって休止します。※

連載「凸凹目線で考える地域のミライ」# 3

『ボードゲーム de 対話の場』開催！

今年の6月より、Kayとして活動に取り組む中で、「凸凹目線で考える地域のミライ」を展開しています。凸凹目線でノーマライゼーションな地域のミライを考えるそんな取り組みです。

ノーマライゼーションとは、障害者や健常者隔たりなく、同じ社会の一員として暮らしていく社会のことで、わたくしは、弱者やマイノリティに焦点を合わせて社会を作っていくことで皆がいきやすくなると考え、凸凹ファーストと名付けました。

その第一歩として対話が必要と考えました。地域でも様々な対話の場が持たれていますが、対話だけに終始し、その先が見通せていないのが現状でもあります。さらには、マイノリティの当事者観点での意見が活発ではなく、特にここ丹後では都市部よりもまだまだ遅れているのが現状です。

凸凹目線で
考える地域の
ミライシリーズ

2018

11.18 日曜日

ボードゲーム de 対話の場

午後1時から4時

京丹後市大宮町
つねよし百貨店さまにて



そこで、ボードゲームで対話を図るワークショップの場を設けることにしました。

今回、舞鶴ボードゲームサークルの方をお招きし、普段、生まれにくい対話をボードゲームをすることで促し、それにより、気づきが生まれ、何かしらの行動につながっていけば、いきやすくなるのでは！？そんな場所にしたいと考えています。

ボードゲームの内容につきましては、舞鶴ボードゲームサークルの方と今回の趣旨にふさわしいものを調整しています。よろしくお願ひします。

【賛同いただきましたみなさんありがとうございました】

10月31日に京丹後市で行われました『みんなで運動しよう Day』の協賛企画『コラボしよう Day』に賛同頂いた皆様に感謝申し上げます。今後も障害者のスポーツ参加を推進していきます。